

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 7日

公表:令和 6年 3月 25日 事業所名 キッズサポートセンター千兵衛's ユニバ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか(県が定める基準に則しているか)	7			愛知県の基準1人当たり3㎡を満たしています。
	2	職員の配置数は適切であるか(国が定める基準に則しているか)	7			国が定める基準を満たしています。利用者の特性を踏まえて支援者を増員して配置するようにしています。
	3	パーテーションや個別の机など障害特性に合わせた環境設定が適切になされているか	5	2		作り付けの個別机に仕切りはあるが、後ろが気になる利用者もいるので、パーテーションを配置したり工夫はしていきたいです。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2		支援者会議は行っているが、活動後に全員で振り返りの時間があるといい。非常勤職員に共有が足りていない所もあるので、伝達や意見を聞く方法を改善していきたいです。
	5	保護者等向け評価表を用いてアンケート調査を実施し、保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	7			毎回アンケートを参考に、支援の見直しをさせていただいています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			自己評価の結果はHPにて公表しています。
	7	第三者による外部評価や、第三者委員を定めて業務改善に繋げているか	6	1		苦情受付の第三者委員として外部の方にはお願いしていますが、そのような苦情は今のところなく話し合いは行われていません。その為、改善に繋がれているという所でどちらとも言えないという意見がありました。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		今年度は、外部のコンサルを受け、自閉症の方の支援の考え方・組み立て方を中心に学びました。また、常勤・非常勤ともに虐待防止研修を実施しています。ただ、自分自身の学びを深める機会は少なく感じた職員もおり、来年度は強度行動障害の外部研修を受講するなど、個人のスキルアップの機会も増やしたい。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	7			保護者や相談支援専門員とともにアセスメントを実施し、現状の課題を見極め個別支援計画を作成しています。3ヶ月~6ヶ月に一度保護者と面談を行っています。児童発達支援管理責任者が作成した計画・アセスメントを現場職員も理解した上で支援の実施や提案ができるよう、朝礼などで支援の確認をするだけでなく、現場で職員同士声を掛け合いながら個別支援計画に沿った支援ができるようにします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			応用行動分析のアセスメントシートや氷山モデル等を使い、アセスメント記録を更新したり、ケース検討時に用いて共通の理解を図るツールとして用いています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			常勤職員が組み立てたものをベースに、非常勤職員からも意見をいただきながら立案をしています。半期単位でプログラムの考案を行い、5領域の視点を踏まえて、各活動の目的ややる事を定めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			個々の特性に合ったプログラムを提供しています。様々な年齢・発達段階の利用者がいるため、年齢・発達段階ごとに活動プログラムを提供できるよう考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題や目標を設定して支援しているか	7			個別支援計画にも記載し、平日・休日・長期休暇での課題や目標をそれぞれ設定しています。自由時間の遊びも設け、タイマーで交代したり、貸し借りの練習などもしています。
	14	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	7			3~6か月毎に面談を実施し、ニーズや課題を整理した上で、個別支援計画を作成しています。
	15	支援前、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			職員の出勤時間が異なるため、担当の常勤職員から非常勤職員に個々に伝達・確認をしています。その日の担当利用者、活動内容、支援で気を付けてほしいポイントなどを共有しています。事務所にコーディネート表を貼り出し、活動内容や担当が分かるようにしています。

	16	終礼や朝礼にて、支援の振り返りや共有事項などを職員で確認し、次の支援に繋げているか	7			職員の出勤・退勤時間が異なるため、終礼では簡単な共有を行い、朝礼にて振り返り等を行っています。支援で気になったことや支援の方向性は業務日報まとめ、非常勤職員にも確認してもらっています。今日の活動内容以外にも、利用者の件でも非常勤を含めて、より伝達や聞き取りができるように、担当者を中心に動いていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	7			日々の様子を HUG の利用記録にデジタルで記入しています。個別支援計画と運動している為、確実に記録を残していけます。利用者毎にケア記録をまとめて閲覧する事もできるので、支援の検証と改善に役立っています。記入の際に、タブレット等に向き合う時間があるので、入力する人、利用者を見る人で役割分担して、支援の抜けが無いように配慮していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っているか	7			保護者と面談を定期的に行い(3 か月・6 か月)、個別支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	1		ガイドラインの基本活動をベースに活動の組み立てを行っています。地域交流のイベントは今年度は感染症の蔓延で中止となった為、地域との交流は実施ができませんでした。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者(児童発達支援管理責任者、担当者など)が参画しているか	7			児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。
	21	日頃から相談支援専門員、市役所福祉課、児童発達支援センター等関係機関と情報共有など連携が図れているか	7			相談支援専門員が担当している利用者の様子を共有したり、事業所の情報を提供したりしています。担当者から相談支援専門員に様子の引き継ぎや連絡を取るようにして、顔と名前を覚えてより連携を図れるようにします。
	22	学校との情報共有(行事予定、下校時刻など)、連絡調整(送迎対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			各学校の年間カレンダーを事業所で確認しています。保護者と連絡を取り合い、行事予定や下校時刻の確認等も随時行っています。学校の先生に送迎時に様子を共有したり質問したりして連携を図れるようにしていきます。
	23	強度行動障害など個別対応が必要な利用者に対して適切な支援ができるような支援スキルを身に付けているか	6	1		今年度は、強度行動障害の外部コンサルを受講しました。特定の職員が代表で受講し、全体に伝達していく流れの中で、研修を受けていない人との理解の違いが出てしまうなどの課題がありました。学んだ事を現場に落とし込む事を引き続き続けていきたい。
	24	身体障害の利用者に対して適切な介助ができるよう、身体介助スキルを身に付けているか	7			身体障害の利用者は今はユニバにはいませんが、体に触れる機会は多い為、自分にも相手にもけがをさせない接し方の必要性については、支援の中で話しています。
	25	就学前に利用していた保育所、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		保護者、相談支援専門員からの聞き取り、引き継ぎから情報を得ることが多いです。児童発達支援事業所と、千兵衛利用前に情報共有したり、千兵衛を利用してアドバイスが欲しい時に相談したり、連携に努めます。また、職員が実際に見る機会があまりないので、そのような機会も設けたいです。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所(生活介護・就労継続支援事業所等)へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を共有する等しているか	6	1		高等部での実習先の事業所、卒業後に移行する事業所と情報共有するよう努めています。事前に学校、相談支援専門員、就職先、母と会議で共有を行っています。案外以外の就職先とは、あまり連携が取れていないように感じる場合もあるので、そういう際にも連携をしっかりと取れるといいと思います。
	27	障害のない子ども達と活動する機会があるか(例:子ども食堂、余暇支援、児童館での交流など)	4	2	1	余暇支援で千兵衛の近所のお子さんを招いて活動することが多いですが、今年度は千兵衛内での感染症の流行で、交流するイベントが中止になってしまいました。公園などでは地域のお子さんと一緒に遊ぶ事もありますが、来年度はまた交流イベントを行いたいです。特性により、そのようなイベントが苦手な方や関わり方に配慮のいる方もいますが、何か1つでも一緒に楽しめる工夫をし、楽しい時間を共有できるように考えていきたいです。
	28	子ども部会(自立支援協議会)へ積極的に参加しているか	6	1		市内の事業所が集まる事例検討・情報共有会などに積極的に参加しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	7			利用者の事業所での様子を伝達し、現在行っているサービスの内容等もその都度説明を行っています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して適切な支援を行っているか	6	1		保護者の悩み、求めていることなどを丁寧に汲み取っていき、適切な支援を行えるようにしています。まだ職員の中で資質・支援力の向上が必要と感じてはいますが、引き続き関係機関とも連携をしながら支援を行ってまいります。
保護者への	31	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時説明を行っています。活動別にかかる負担額はその都度口頭や書面にてお知らせしています。R5 年 12 月には、おやつ代の変更等を含めて、改めて書面にて周知しました。
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者の悩みに対しては、真摯に向き合い、一緒に考えさせていただきます。育児や障害特性のことなど専門的な視点でも助言等ができるよう、職員一同勉強をしています。相談支援専門員などにも共有させていただき連携を図っています。

の 説 明 責 任 等	33	保護者交流会等を開催し、保護者同士の連携を支援しているか	7			今年度は11月に保護者交流会を開催しました。事前にアンケートを行い話したいテーマを絞り込み、先輩ママを招いたりして、保護者が求めていることを汲み取った話が聞けるように実施しています。欠席者にも、内容を離れた文面にして配信させていただきました。参加する保護者が固定化しないように、良かった感想なども共有して、参加者を募っていきたい。また、保護者の求めるものもより専門性が高くなってきているので、スタッフ自身の学びと共に、専門の講師を呼ぶなどの検討もしていきたいです。
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			支援の不具合や、アドバイスなどお聞きしたことを即座に解決できるよう体制を整え対応しています。
	35	定期的におたより・会報誌を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			事業所のお便りを月に1回発行して月間予定を配信しています。LINE オフィシャルで事業所や法人の活動を配信しています。また、今年度からHUGアプリでも活動内容の写真付きでの予告などを始めています。
	36	個人情報に充分注意しているか	7			鍵のついた棚にて厳重に管理を行い、事業所外に持ち出さないようにしています。会議ではイニシャルで話し合いを行うことで個人名を特定できないよう配慮しています。契約時に個人情報取り扱いについての書類を記入いただいたり、マスコミ等取材が入る時は都度保護者に説明したり個人情報の配慮をしています。
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			利用者に伝わるよう視覚でわかりやすく伝えるなど、個々に合った手法を用い伝えるよう努力しています。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1		12月に子ども会と合同のクリスマス会を企画していましたが、こちらの感染症蔓延により中止とさせていただきます。今後も感染症の時期などに注意しながら、地域の方と積極的に交流できるような場を設けていきます。
非 常 時 等 の 対 応	39	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	非常災害時の対応マニュアル、新型コロナウイルス感染対策マニュアルを策定しています。職員の方にも説明会の中でお伝えしてきていますが、十分周知できているとはまだ言えない部分もあるので、来年度は非常災害対策計画・BCPを職員・保護者に対しても浸透していけるように周知の仕方を工夫したい。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年に2回、地震と火災に備えた訓練を行っています。ビデオ学習、避難練習、引き渡しを段階を経て行っています。
	41	虐待を防止するため、研修等適切な対応をしているか	7			法人内部研修や、県・市主催の研修を受講するなどしています。また、3か月に1度アンケートを取り、支援の改善について話し合いをしています。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束するかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	7			どのような場合にやむを得ず身体拘束するかを職員間で話し合い、対象の利用者・保護者に事前に説明し同意を得ています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応等適切な配慮がなされているか	7			契約時に、アレルギーがないか確認するようにしています。献立表を作成する際に、昼食やおやつ提供時にアレルギーの食材を提供しないよう、複数の職員で確認しています。
44	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有し、支援の改善に努めているか	5	2		ヒヤリハット事例は、起きた事を分析し、再発防止に向け事業所内で話し合いをして記録しています。ヒヤリハット報告書はクラウド上で常勤職員は確認できていますが、非常勤職員には印刷をしないと共有ができない為、周知が遅れてしまう場合があります。迅速に共有ができるように、業務日報とともに翌日には閲覧できるようにしていきたい。	